

関西大学

| 2012 大学案内 |

- 法学部
- 文学部
- 経済学部
- 商学部
- 社会学部
- 政策創造学部
- 外国語学部
- 人間健康学部
- 総合情報学部
- 社会安全学部
- システム理工学部
- 環境都市工学部
- 化学生命工学部



THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

[ゼミ] 紹介

教員と学生たちがディスカッションを通じて
ともに創り出す知的空間。

Close Up
ゼミ

自由な雰囲気の中で現代のドイツ文化に触れ、日本文化を振り返る。

ヴィットカンフ ゼミ



教員

日々変わりゆくドイツ社会の「いま」を見つめる視点をもってください。



ドイツ文化は近年、大きく変化しています。もともとのドイツ人と、移民系のルーツをもつドイツ人の文化が融合して、新しい文化が生まれつつあるのです。皆さんもぜひドイツ語を勉強して、ドイツ文化の「いま」に触れてほしいと思います。ドイツ語はそんなに難しい言語ではありませんよ。

文学部 総合人文学科 ドイツ学専修

ローベルト・F. ヴィットカンフ 教授

ゼミ生

ドイツ語への興味がドイツ文化全般への関心へと発展しました。

高校の時にイギリスでのサマーセミナーに参加して、そのときに知り合ったドイツ人の友人と文通するため、ドイツ語を学び始めました。ドイツ学専修を選び、ゼミで学ぶようになってから、ドイツ社会のことやドイツ人の環境に対する意識など、さまざまなことに関心が向かうようになりました。

文学部 総合人文学科 ドイツ語ドイツ学専修(現ドイツ学専修) 2011年3月卒業

吉川 梨香 (愛知/国立名古屋大学教育学部附属高校出身)



ドイツに対する興味が共有できる仲間がいます。少人数を生かして、深く掘り下げた議論ができるゼミです。話し合うことで、各自の関心をますます深めていくことができます。



合宿は自然の中で、楽しみながら学ぶ。六甲でのゼミ合宿にはドイツ人ゲストも参加し、にぎやかな雰囲気でした。卒業論文の中間発表も含め、さまざまなことを語り合いました。

ゼミ生 × 教員 インタビュー

フィットカンフ 吉川さんは、約1年間のドイツ留学から帰国したところで、現在、ドイツの有機栽培食品の認定基準と、認定された食品につけられるマークに注目して、卒業論文の作成を進めています。どうして、このテーマを選んだのですか？

吉川 エアランゲン・ニュルンベルク大学で学んでいるうちに、世の中で起こっている現象に対するドイツ人の考え方を知りたいと思うようになりました。そこで、日本と同じくドイツでも話題になっている有機栽培食品を取り上げることにしたのです。有機栽培食品に対するEUの認定基準と、ドイツ国内での独自の基準を比較することから始めて、ドイツの消費者が食に対して抱いている意識まで、調べることでできればと思っています。

フィットカンフ なるほど。Bio(有機)食品は、ドイツでは1980年代以降、当初は若い世代に普及しました。Bioの食料品店は、少し高価でも信頼できる食品を扱う店として、一般的になってきています。とこ

ろが最近、ある国際的な大手食品メーカーが、本物の有機ではない食品にBioマークをつけて偽装していたことが発覚し、ドイツでも大きな問題になりましたね。

吉川 「EUの基準は甘すぎるのではないかと」、「消費者がだまされないようにするために、マークをつけられる条件を厳しくする必要がある」など、活発に議論が行われています。私も、どんな条件が最適なのか、また、消費者にわかりやすいマークとはどういうものなのか、考えてみようと思っています。さらに、消費者が有機食品を選ぶ理由について、ドイツの新聞や雑誌の記事から年代順に追ってみると、以前は「環境に良いから」と答えた人が多かったのに、最近「健康のため」と答える人が増えているようです。このような意識の変化が起きる背景にも興味があります。

フィットカンフ こういう問題を考えるとき、吉川さんはドイツ語の新聞や雑誌、さらに留学中に買ったドイツ語の専門書も参考にしていますね。とても意欲的に研究を進めている学生の一人だと思いますよ。

吉川 ありがとうございます。ゼミの雰囲気が自由で、ドイツの社会や文化に関することなら何でも研究できるので、自分からやる気をもって取り組みます。

フィットカンフ 確かに、いろいろなテーマに取り組んでいる人がいますね。ドイツ人の思想家によってつくられ、日本の幼稚園のもとにもなったKindergartenについての研究もあれば、有名な舞台の脚本を、ドイツ語のオリジナルと比較する研究もあります。2つの文化を比較することは、理論的に言えば難しい点もありますが、何かのテーマをきっかけに別の国の文化について深く知ることで、自国の文化についての理解も必ず深まります。

吉川 春からは企業で働きますが、ゼミを通じて身につけた自主性を今後も発揮していくつもりです。